申請書

（日本文化紹介イベント助成）

（申－１）

　申請日　　　年　　月　　日

公益財団法人日本台湾交流協会

理　事　長　谷　崎 泰　明　　様

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請団体 | 日本語名 |  | 設立年：　　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 中国語名 |  | 年間予算額 |
|  | 氏名 | 職名 | 署名 |
| 代表責任者 |  |  |  |
| 経理責任者 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |  |  |
| 事業担当者 |  |  |  |
| 所在地 | （郵便番号） |
| （所在地） |
| （事業担当者連絡先）TEL:FAX:Email: |
| 申請団体の主要業務内容 | **＊申請団体のパンフレット・事業案内等を各２部添付してください。** |
| 主要業務に関する主な実績 |  |

＊本様式で紙面が不足する場合は別紙を追加してください。

（申－２）

**申請対象事業の概要**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名称 | 日本語 |  |
| 中国語 |  |
| 事業実施期間 | ２０　　　年　　月　　日　～　２０　　　年　　月　　日　（　　　日間） |
| 事業実施場所 | 名　称：所在地： |
| 事業内容の要約 |
| 共催・助成・後援団体情報（各協力団体の協力内容についても明記のこと） |
| 事業の実施目的、意義及び実施することにより期待される台湾での効果、数値目標（予定来場者数、マスコミ掲載件数、専門サイトへの「いいね」評価件数等） |
| 　短期的 |
| 　長期的 |
| 計画の経緯及び準備状況 |
| 計画の経緯 |
| 準備状況 |
| 助成を必要とする理由　 |

＊本様式で紙面が不足する場合は別紙を追加してください。

（申－３）

**事業日程**

※日本出発日（又は日本到着日）から日本帰国時（又は日本出発日）までを記載のこと。

関係者の滞在日程及び宿泊先も明記のこと。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年月日 | 日　　程 | 場所 |
|  |  |  |

＊本様式で紙面が不足する場合は別紙を追加してください。

（申－４展示）

記入例

**収支計画書**（**展示事業**）

**【収入】**　　　　申請対象事業の実施に関係する全費用について記入して下さい。　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠（単価×人数等） | 小計 | 備考 |
| （A）日本台湾交協会に要望する助成金 | ・作家航空賃　　　　　＠80,000×３名=240,000・作品輸送費（絵画30点）　　　　　　　100,000　　　　 | 340,000 |  |
| 例：他機関からの助成金 | ・●●財団（決定）　　　　　　　　　　　　　150,000・◇◇県文化交流協会（内定９月上旬）300,000　（作家公演　@100,000×3名） | 450,000 |  |
| 例：協賛金額寄付金等 | ・▽▽商事（株）（決定）　　　　　　　　　　　50,000 | 　50,000 |  |
| 例：入場料・出演料等 | 1台湾元=4.0円と想定・入場料収入＠200台湾元×4.0×50名＝40,000 | 40,000 |  |
| 例：パンフレット図録等売上げ | 　1台湾元=4.0円と想定・図録売上収入＠200台湾元×4.0×10枚＝8,000 | 8,000 |  |
| 例：その他の収入 | ★★美術館（台湾側共催団体）より、日本側関係者の宿泊先の無償提供あり（決定） | 0 | （現物供与） |
| 例：自己負担金 | ・団体代表者旅費・滞在費　＠200,000×1名＝200,000 | 200,000 |  |
| （B）合　　計　　額 | ※支出の合計金額と一致すること | 1,088,000 |  |
| 日本台湾交流協会助成金額の総収入に占める割合[（A）/（B）×100]= 31,25 % |

※団体、企業、個人からの現物供与により、経済的な負担をしなくても良い項目（現地受け入れ先が宿泊を提供する場合や企業が航空券を提供する場合等）についても、その金額を概算し、支出・収入欄双方に記入して下さい。その際、現物供与であることを括弧書き願います。

※助成金額・補助金額については、申請中か決定（内定）済か申請中のものについては結果が判明する時期を、また、助成対象項目が指定されている場合にはその対象項目をそれぞれ明記し表中に含めて下さい。

※企業からの寄付金額、協賛金額についても同様に、申請中のものも含めて記入して下さい。

※作家及び専門家の宿泊費の上限額は人により異なります。そのため、採用が確定し、助成対象者が決まりましたら、協会担当者に同対象者の情報をご提出の上、ご確認ください。目安としまして、助成最高上限額が

１５，５００円／泊・人です。

（申－４展示）

**収支計画書**（**展示事業**）

**【収入】**　　　　申請対象事業の実施に関係する全費用について記入して下さい。　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠（単価×人数等） | 小計 | 備考 |
| （A）日本台湾交協会に要望する助成金 |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| （B）合　　計　　額 | ※支出の合計金額と一致すること |  |  |
| 日本台湾交流協会助成金額の総収入に占める割合[（A）/（B）×100]= 　　　　 % |

※団体、企業、個人からの現物供与により、経済的な負担をしなくても良い項目（現地受け入れ先が宿泊を提供する場合や企業が航空券を提供する場合等）についても、その金額を概算し、支出・収入欄双方に記入して下さい。その際、現物供与であることを括弧書き願います。

※助成金額・補助金額については、申請中か決定（内定）済か申請中のものについては結果が判明する時期を、また、助成対象項目が指定されている場合にはその対象項目をそれぞれ明記し表中に含めて下さい。

※企業からの寄付金額、協賛金額についても同様に、申請中のものも含めて記入して下さい。

※作家及び専門家の宿泊費の上限額は人により異なります。そのため、採用が確定し、助成対象者が決まりましたら、協会担当者に同対象者の情報をご提出の上、ご確認ください。目安としまして、助成最高上限額が

１５，５００円／泊・人です。

（申－５展示）

記入例

**収支計画書（展示事業）**

**【支出】**　　　　申請対象事業の実施に関係する全ての経費項目を記入して下さい。　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠（単価×人数等） | 小計 | 備考 |
| 例：航空費 | 作家　　＠80,000×3名=240,000スタッフ　＠80,000×3名=240,000団体代表者＠80,000×1名=80,000　 | 520,000 |  |
| 例：宿泊費 | ★★美術館（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：図録作成費 | ＠500×200部＝100,000 | 100,000 |  |
| 例：作品輸送費 | 絵画30点100,000 | 100,000 |  |
| 例：作品保険料 | 絵画30点30,000 | 30,000 |  |
| 例：現地交通費 | ★★美術館（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：広告宣伝費 | ★★美術館（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：会場費 | ★★美術館（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：会場設営費 | ★★美術館（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：国内準備費 | 通信費　　　　　　　　　　　　　　　　10,000図録原稿翻訳費　　　　　　　　　　28,000 | 38,000 |  |
| その他記載のない費用については、行を追加してください。 | 作家公演謝金@100,000×3名 | 300,000 |  |
| 合　　計　　額 | ※収入の合計額と一致すること。 | 1,088,000 |  |

※国際航空賃(エコノミークラス)の見積書を添付して下さい。

※国際航空賃の証拠書類には、①　Eチケットの控え、➁搭乗券の半券（往復）が必要です。紛失しないように気を付けてください。なお、➁を紛失してしまった場合は、代わりに航空会社から搭乗証明を取得し、添付して下さい。

（申－５展示）

**収支計画書（展示事業）**

**【支出】**　　　　申請対象事業の実施に関係する全ての経費項目を記入して下さい。　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠（単価×人数等） | 小計 | 備考 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 合　　計　　額 | ※収入の合計額と一致すること。 |  |  |

※国際航空賃(エコノミークラス)の見積書を添付して下さい。

※国際航空賃の証拠書類には、①　Eチケットの控え、➁搭乗券の半券（往復）が必要です。紛失しないように気を付けてください。なお、➁を紛失してしまった場合は、代わりに航空会社から搭乗証明を取得し、添付して下さい。

（申－４　公演）

記入例

**収支計画書（公演事業）**

**【収入】**　　　　　申請対象事業の実施に関係する全費用について記入して下さい。　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠（単価×人数等） | 小計 | 備考 |
| （A）日本台湾交協会に要望する助成金 | ・公演者航空賃　　　　　＠80,000×3名=240,000・荷物の輸送費（舞台衣装・小道具）　 　100,000　　　　 | 340,000 |  |
| 例：他機関からの助成金 | ・●●財団（決定）　　　　　　　　 　150,000・◇◇県文化交流協会（内定９月上旬）300,000　（公演者謝金　@100,000×3名） | 450,000 |  |
| 例：協賛金額寄付金等 | ・▽▽商事（株）（決定）　　　　　　 　50,000 | 　50,000 |  |
| 例：入場料・出演料等 | 1台湾元=4.0円と想定・入場料収入＠200台湾元×4.0×50名＝40,000 | 40,000 |  |
| 例：パンフレット売上げ | 1台湾元=4.0円と想定・DVD売上収入＠200台湾元×4.0×10枚＝8,000 | 8,000 |  |
| 例：その他の収入 | ★★劇場（台湾側共催団体）より、日本側スタッフの現地宿泊先の無償提供あり（決定） | 0 | （現物供与） |
| 例：自己負担金 | ・団体代表者旅費・滞在費　＠200,000×1名＝200,000 | 200,000 |  |
| （B）合　　計　　額 | ※支出の合計金額と一致すること | 1,088,000 |  |
| 日本台湾交流協会助成金額の総収入に占める割合[（A）/（B）×100]= 31,25 % |

※団体、企業、個人からの現物供与により、経済的な負担をしなくても良い項目（現地受け入れ先が宿泊を提供する場合や企業が航空券を提供する場合等）についても、その金額を概算し、支出・収入欄双方に記入して下さい。その際、現物供与であることを括弧書き願います。

※助成金額・補助金額については、申請中か決定（内定）済か申請中のものについては結果が判明する時期を、また、助成対象項目が指定されている場合にはその対象項目をそれぞれ明記し表中に含めて下さい。

※企業からの寄付金額、協賛金額についても同様に、申請中のものも含めて記入して下さい。

（申－４　公演）

**収支計画書（公演事業）**

**【収入】**　　　　　申請対象事業の実施に関係する全費用について記入して下さい。　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠（単価×人数等） | 小計 | 備考 |
| （A）日本台湾交協会に要望する助成金 |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| （B）合　　計　　額 | ※支出の合計金額と一致すること |  |  |
| 日本台湾交流協会助成金額の総収入に占める割合[（A）/（B）×100]= 　　　 % |

※団体、企業、個人からの現物供与により、経済的な負担をしなくても良い項目（現地受け入れ先が宿泊を提供する場合や企業が航空券を提供する場合等）についても、その金額を概算し、支出・収入欄双方に記入して下さい。その際、現物供与であることを括弧書き願います。

※助成金額・補助金額については、申請中か決定（内定）済か申請中のものについては結果が判明する時期を、また、助成対象項目が指定されている場合にはその対象項目をそれぞれ明記し表中に含めて下さい。

※企業からの寄付金額、協賛金額についても同様に、申請中のものも含めて記入して下さい。

（申－５　公演）

記入例

**収支計画書（公演事業）**

**【支出】**　　　申請対象事業の実施に関係する全ての経費項目を記入して下さい。　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠（単価×人数等） | 小計 | 備考 |
| 例：航空費 | 公演者　　 ＠80,000×3名=240,000スタッフ　 ＠80,000×3名=240,000団体代表者 ＠80,000×1名=80,000 | 520,000 |  |
| 例：荷物輸送費 | 舞台衣装・小道具一式（80kg）100,000 | 100,000 |  |
| 例：宿泊費 | ★★劇場（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：プログラム作成費 | ＠500×200部＝100,000 | 100,000 |  |
| 例：荷物保険料 | 舞台衣装・小道具一式（80kg）30,000 | 30,000 |  |
| 例：現地交通費 | ★★劇場（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：広告宣伝費 | ★★劇場（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：会場費 | ★★劇場（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：会場設営費 | ★★劇場（台湾側共催団体）より無償提供 | 0 | （現物供与） |
| 例：国内準備費 | リハーサル経費会場使用料　 10,000公演者交通費実費　 ＠2,000×3名スタッフ交通費実費 ＠1,000×2名舞台衣装・小道具運搬費 ＠20,000 | 38,000 |  |
| その他記載のない費用については、行を追加してください。 | 公演者謝金@100,000×3名 | 300,000 |  |
| 合　　計　　額 | ※収入の合計額と一致すること。 | 1,088,000 |  |

※国際航空賃(エコノミークラス)の見積書を添付して下さい。

※国際航空賃の証拠書類には、①　Eチケットの控え、➁搭乗券の半券（往復）が必要です。紛失しないように気を付けてください。なお、➁を紛失してしまった場合は、代わりに航空会社から搭乗証明を取得し、添付して下さい。

（申－５　公演）

**収支計画書（公演事業）**

**【支出】**　　　申請対象事業の実施に関係する全ての経費項目を記入して下さい。　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経費項目 | 積算根拠（単価×人数等） | 小計 | 備考 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 合　　計　　額 | ※収入の合計額と一致すること。 |  |  |

※国際航空賃(エコノミークラス)の見積書を添付して下さい。

※国際航空賃の証拠書類には、①　Eチケットの控え、➁搭乗券の半券（往復）が必要です。紛失しないように気を付けてください。なお、➁を紛失してしまった場合は、代わりに航空会社から搭乗証明を取得し、添付して下さい。

事業終了後一か月以内にご提出ください。

その際、請求書（請―１）は提出しないでください。

(報－１)

事業実施報告書

（日本文化紹介イベント助成）

日付：　　　年　　月　　日

公益財団法人　日本台湾交流協会

理 事 長　　谷 崎　泰 明　　　殿

所在地：

団体名：

代表者氏名：

貴協会の助成を受け、実施した事業に関し、下記のとおり報告書を提出致します。

記

1. 助成対象事業(事業名)：

２．事業実施期間：　２０　　年　　月　　日～２０　　年　　月　　日

1. 事業実施場所：
2. 事業報告：（報－２）のとおり。
3. 会計報告：（報－３）（報－４）のとおり。
4. 請求金額：（報―３の（A））のとおり。
5. 出版物・ＤＶＤ・パンフレット等：別添各２部

※本様式以外にも作成した報告書がある場合には添付して下さい。

※本様式で紙面が不足する場合は別紙を追加して下さい。

※関連の出版物、ＤＶＤ、パンフレット等を制作した場合は、各２部を本報告書と共にご提出下さい。

(報－２)

事　業　報　告

事業概要

|  |
| --- |
| 誰を対象にしたどのようなイベントをいつどこで実施したのか、また、事業実施にあたり、どのような工夫をしたか簡潔にご報告ください。 |

評価(目的達成度、効果及び反響についての自己評価)

|  |
| --- |
| 当初目標としていた来場者数に達したか、アンケート、新聞報道等による台湾での反響はどうだったか、それら結果についてどのように評価するか、簡潔にご報告ください。 |

共催・助成・後援団体等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 団体名 / 氏名 | 協力形態（共催・助成・後援） | 台湾/日本/その他 |
|  |  |  |

事業日程　※当協会助成による参加者の滞在日数及び宿泊先も明記のこと。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年月日 | 日　程 | 活動場所 |
| 　　　　 |  |  |

＊本様式で紙面が不足する場合は別紙を追加してください。

(報－３)

会　計　報　告

【収入】　　申請対象事業の実施に関係する全費用について記入して下さい。　　　　　　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 経費項目 | 申請書計上予算額 | 実績額※（A）は申請額 |
| 日本台湾交流協会に要望した助成金額 |  | （A） 円 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 合　計　額 |  | （B） |
| 日本台湾交流協会助成金額の総収入に占める割合[（A）/（B）×100]= % |

【添付書類(領収書等)】

　※日本台湾交流協会の助成項目については、必ず領収書(原本証明を付したコピーでも可)を添付して下さい。

　※航空賃の証拠書類として、①Eチケットの控えと➁搭乗券の半券（往復）を提出して下さい。➁を紛失した場合は、代わりに航空会社から搭乗証明を取得し、添付して下さい。

　※外貨の計算は、原則として事業を開始する前日のレートを使用しますので、適用したレートと適用日が記載されたもの(銀行、ウエブサイトのレートが記載されたページをプリントアウトしたものでも可)を添付して下さい。日本円に換算後、小数点以下は四捨五入せずに切り捨てて下さい（事業開始日の前日が休日に当たる場合はその前日を適用して下さい）。

＊本様式で紙面が不足する場合は別紙を追加してください。

(報－４)

会　計　報　告

【支出】　　申請対象事業の実施に関係する全ての経費項目を記入して下さい。　　　　　　　　　単位：円

|  |  |
| --- | --- |
| 経費項目 | 全　　体　　額　　 |
| 申請書計上予算額 | 実　　績　　額 |
| 内訳 | 小　計 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 合　計　額 |  |  |  |

※本様式で紙面が不足する場合には別紙を追加して下さい。

(請－１)

日本台湾交流協会から助成額の確定通知が届いてからご提出ください。（事業実施報告書と一緒に提出しないでください。）

**請　求　書**

（日本文化紹介イベント助成）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日付：　　　年　　月　　日

公益財団法人日本台湾交流協会

理事長　　谷崎　　泰明　　　　　殿

住　所　：

団体名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

(及び代表者名)

下記の金額を請求致します。

記

**金　　　　　　　　　　　　　　　　　円也**

(振込先)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 銀行名 |  | 支店名 |  |
| 銀行番号 |  | 店番号 |  |
| 普通預金　・　　当座預金 |
| 口座番号 |  |
| 口座名義 | フリガナ |
| 漢字 |